

# チューリップ新品種「黄つるぎ」の育成

富山県農林水産総合技術センター 園芸研究所

## 1. 育成のねらい

県育成チューリップの花型のバリエーションを増やすため、ユリ咲きの中でもさらに花卉が細長い珍しい花型の品種を育成する。

## 2. 育成経過

平成8年：交配

平成14年：初開花、初選抜

平成22～26年：系統特性検定試験  
系統名付与「砺波育成140号」

平成27年～30年：特性検定試験

令和元年：品種登録出願

♀ Compliment



×

♂ Hoangho



38粒



3系統



「砺波育成140号」



「黄つるぎ」



## 3. 品種の特徴

- ・黄色のユリ咲き  
(花卉が従来のユリ咲きよりも細長い特徴的な形状)
- ・球根腐敗病や条斑病に強い。

(露地開花特性)

- ・露地開花期は4月中旬、  
花の鑑賞期間は14日程度
- ・茎葉が強健で、花壇植えに適している

(球根収量性)

- ・球根収穫期は6月中旬  
主球の肥大性は「小」、分球性は「大」、  
収量性は「中」、ほ場裂皮の発生率は5%未満

(耐病性)

- ・土壌伝染性病害抵抗性は、  
病斑モザイク病「やや弱」、条斑病「強」、  
球根腐敗病「強」

(促成適応性)

- ・3月出荷が可能  
(12月から2月出荷の作型は不適)



## 4. 販売までの経路

令和元年から県内生産者のほ場で原種増殖が開始され、令和3年に県球根組合を通じて生産者へ原種供給、令和4年収穫の球根より販売を開始